

ぜんそんはく
**全村博
だより**
第25号



全村博物館構想は、身の周りにある良いものをみんなと一緒に探して、学んで、この村で楽しくやっています。という活動です。

【発行】

阿智村役場 協働活動推進課
全村博物館構想事務局
TEL0265-43-2220
kyodo@vill.achi.lg.jp

2020年4月20日

風神温泉、朝市広場の
花桃。(写真・中田)

阿智高校×地域 地域政策コース観光エリア

今年度も全村博は地域政策コース観光エリアの2年生・3年生と一緒に授業に取り組みます。



2年生の授業では自己紹介を行ったあと、全村博の担当者から阿智村の村づくりの紹介と、この授業で大切にしたい3つのこと「自分たちでやりたいことをやる」「地域の宝を見つける」「地域の人と関わる」を伝えました。生徒からは「住んでいる人がどんな村にするか決められる、やりたいことを応援してもらえる村というのが素敵だと思った」「阿智村の魅力をもっと知りたい」などの感想がありました。

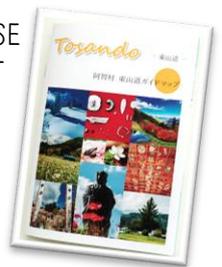
東山道ガイドマップができました

「東山道」をメインにした観光ガイドマップが完成しました。このマップは、阿智村の歴史や文化について知らない人にも、東山道が通っていた各地区を巡ってもらおう！と企画したものです。



役場やACHI BASE
に置いてます

英語版も
あるよ!



東山道についての説明はもちろん、東山道が通っていたとされている地区の名所や写真スポット、お店も載っています。今は新型コロナウイルス感染拡大予防のため出歩くことはおすすめできませんが、落ち着いた頃には、このガイドマップを片手に散策してみませんか。

クイズ! 『この場所は、どこだ?!』 Vol.2

阿智村出身の写真家・熊谷元一の写真に写る場所を皆さんに当ててもらおう参加型企画です。その場所は今どうなっているのか?! 地域おこし協力隊・中田が撮影に行きます!



ここは清内路地区の
中心地です。

清内路村の中心地
阿智村清内路
一九五六(昭和三十一年)撮影

答え合わせ
は次号で!

答えが分かった方は5月11日(月)までに
下記連絡先へ、ご連絡ください。

前は3名の方からご連絡をいただきました。ありがとうございました!

前号の答え



集会所(現在の河内集会所)

役場(現在の伍和公民館)

木曾屋

※繭受け取り所

伍和・
洞地区

1955(昭和30)年

65年後

※繭受け取り所: 当時は養蚕業が盛んで、収穫した繭をここで集荷していました。

集まってくれた皆さんによると、当時と道幅はほとんど変わっていないそうです。



◎企画展「花桃の里 阿智村 ～花桃に生涯をかけた人々～」

この展示では阿智村が「花桃の里」になった経過を紹介しています。関係者をたどり、話を聞くことで見えてきたことは、自らの暮らす地域を美しい所にしようと取り組んできた人達の姿です。またその際に花桃の鮮やかさに多くの方が魅了されてきたことです。



花桃に生涯をかけた人々

花桃のルーツ

◎江戸時代から日本に花桃はあった。

江戸時代に書かれた「本草図譜」に花桃の品種「源平」などが載っている！

* 国立国会図書館所蔵



1922年：福澤桃介がドイツから花桃を持ち帰り、木曾の発電所に植えた。

* 国立国会図書館所蔵

1991年：渋谷秀逸さんが清内路から花桃の苗を分けてもらい、数年かけて約800本を植え、評判に。その後智里西地区全体で取り組み、今では約5000本になっている。



1995年頃：原憲治さんが家の周囲や道沿いに花桃を植え始めた。その後、地域の人達も一緒に作業するようになった。

- ・ 駒場の橋上好朗医師が市ノ沢などに苗木を植えた → 現在はソフトボール協会の人たちが管理
- ・ 企業等で作る「花桃の会」で風神の花桃を増やした
- ・ その他、各地区で自治会などが管理を続けている

1911年以降：大宮トメさんが南木曾から清内路に花桃を持ってきたと言われている。

1983年頃：ふるさと自然園に約500本を植え、数人が苗の栽培・販売に取り組むようになった。その後、国道沿いに南木曾まで植えた。

取り組んだ一人、櫻井定二さん



春日 駒場

1970年：松木英雄さんが伍和から花桃を分けてもらい庭に植えた。その後1989年頃から20年ほど苗木作りに取り組み、駒場を始め村内のあちこちに植えた。



大鹿地区の原好計さん宅に現在幹回り約150cmになった花桃がある。40年前の写真に写ったその花桃の大きさから、1970年代に植えられた花桃だと思われる。



苗の育て方

◎種を植えてから出荷まで約1年半かかる

木に付いている種を軽く洗って植える。

翌年の春発芽。発芽率は低い。

苗が10cm位になったら植え替え。

枝の色で花の色が分かると言われている。

緑：三色の花桃
赤：単色の花桃



苗の大きさが1m位になったら出荷。

翌春

花桃の里のために

◎5月下旬～11月まで剪定、枝の片付け、草刈り、肥料蒔きなど様々な作業がある。



急傾斜かつ広範囲の作業はとても大変。



作業に携わる一人、智里西地区の熊谷友一郎さんは「毎年お客さんが来て、見て喜んでくれるのが励み。」と話す。

